

# 志望研究室等調査票記入に関する参考資料 (2024年度 一般選抜第2次募集)

この資料は必ず「修士課程学生募集要項」とセットでお取り扱いください。

---

九州大学大学院総合理工学府

(2023年10月)

## 志望研究室等調査票の記入について

修士課程において、あなたがどの研究室（教育分野）での修士研究を志望しているのかをお尋ねします。

については、以下の研究室（教育分野）一覧を参考にして、学生募集要項にある志望研究室等調査票（様式2）に志望の研究室名等を記入してください。なお、研究室名等は第6志望まで記入することができます。

### 〈志望研究室を選ぶ際の注意事項〉

志望研究室は、あなたが第2次募集に出願するにあたり、「受験を希望する類」として選択した類に所属し、かつ、学生を募集するとしている研究室の中から選択してください。

研究室を選ぶ際には、以下の総合理工学府のホームページも参考にしてください。

総合理工学府ホームページ：  
<https://www.tj.kyushu-u.ac.jp/>

## I 類に属する研究室・教員構成及び研究内容

I 類 (物質科学) では、材料工学及び化学・物質科学を幹学問分野とし、先端的かつ環境共生型の材料設計、評価、プロセスの学習と実践を通じて、他分野との境界領域においても活躍できる研究者、高度専門技術者を育てます。

研究室番号 研究室名 (担当教員名)	研究内容	連絡先 研究室HP URL
I-1 機能材料物性学 (教授 島ノ江憲剛、 准教授 渡邊 賢、 准教授 末松 昂一)	金属酸化物を中心に無機材料精密合成法の開発により、バルク、表面、界面を制御し、ガスセンサ、次世代固体電池、高性能酸素分離膜など新しい化学機能デバイスを創製する。材料・デバイスの構造・物性の高度な解析により機能発現メカニズムを理解するとともに、先進デバイスの実現に資する設計指針を構築し、産業展開する。 <b>(高性能ガスセンサ、次世代全固体電池、高性能酸素分離、精密ナノ粒子創成)</b>	<a href="https://www.mm.kyushu-u.ac.jp/lab_03/index.html">https://www.mm.kyushu-u.ac.jp/lab_03/index.html</a>
I-2 熱・電子機能物性理工学 (教授 大瀧 倫卓、 准教授 末國晃一郎)	無機物質の強靱で多様な物性バラエティを物性科学・材料化学的立場から最大限に発揮させ、さらに有機分子の持つ優れた自己構築機能や選択的相互作用を協奏的に発現させることにより、熱電エネルギー変換やナノ界面による電気伝導と熱伝導の独立制御など、高度な機能を持つ新しい無機機能材料の開発を行っている。 <b>(熱電変換材料・発電デバイス、酸化物・硫化物半導体、電気・熱伝導アクティブ制御、低次元ナノ物質、自己組織化無機有機複合体)</b>	<a href="https://www.asem.kyushu-u.ac.jp/~ohtaki/">https://www.asem.kyushu-u.ac.jp/~ohtaki/</a>
I-3 機能無機材料工学 (教授 永長 久寛、 准教授 北條 元)	(今回の二次募集における募集はありません)	
I-4 構造セラミックス材料学 (一)	(今回の二次募集における募集はありません)	
I-5 無機ナノ構造解析学 (准教授 稲田 幹)	(今回の二次募集における募集はありません)	
I-6 新素材開発工学 (教授 山田 浩志、 准教授 上原 雅人)	IoTソリューションに欠かせないセンサ・デバイス技術の飛躍的な向上を目指した新規窒化物圧電材料の開発と機能性向上、計算機シミュレーションを利用した材料探索や機能解明の研究開発をそれぞれ推進している。 <b>(機能性材料とデバイス、窒化物圧電および強誘電薄膜、計算機シミュレーション、発光体)</b>	<a href="https://unit.aist.go.jp/ssrc/team_sm-t.html">https://unit.aist.go.jp/ssrc/team_sm-t.html</a>
I-7 構造材料物性学 (教授 中島 英治、 准教授 光原 昌寿)	(今回の二次募集における募集はありません)	
I-8 結晶物性工学 (准教授 板倉 賢)	(今回の二次募集における募集はありません)	

I-9 量子材料物性学 (教授 波多 聡)	(今回の二次募集における募集はありません)	
I-10 極限材料工学 (准教授 橋爪 健一)	核融合・水素・太陽等のエネルギー利用を念頭に、極限環境(超高温、放射線場等)に置かれた材料の応答・物性変化を、材料中の原子・イオン・電子等のミクロ挙動を通して明らかにし、エネルギー材料開発のための教育と研究を行う。 (水素同位体、原子炉材料、核融合炉材料、水素エネルギー材料)	<a href="https://igses.kyushu-u.ac.jp/hashizume/index-j.html">https://igses.kyushu-u.ac.jp/hashizume/index-j.html</a>
I-11 材料構造制御学 (教授 飯久保 智 准教授 嶋田 雄介)	(今回の二次募集における募集はありません)	
I-12 プロセス設計工学 (教授 寒川 義裕)	(今回の二次募集における募集はありません)	
I-13 高エネルギー極限物性学 (准教授 渡邊 英雄)	(今回の二次募集における募集はありません)	
I-14 プラズマ材料学 (准教授 徳永 和俊)	高融点金属材料のプラズマ・壁相互作用による表面損傷や高熱負荷による力学的応答、及び水素吸蔵・リサイクリングの基礎過程の解明と将来の核融合炉第一壁・ダイバータ材料や高熱流束機器の開発への応用に関する教育と研究を行う。 (プラズマ・壁相互作用、照射損傷、高熱負荷、高融点金属材料)	<a href="https://www.triam.kyushu-u.ac.jp/tokunagaken/">https://www.triam.kyushu-u.ac.jp/tokunagaken/</a>
I-15 機能物性評価学 (教授 大橋 直樹、 教授 原 徹 准教授 坂口 勲)	金属、セラミックスや薄膜材料の結晶構造、電子状態、欠陥構造や界面状態の制御と評価を通じ、先端的な光・電子機能(発光材料、半導体素子材料、センサ等)材料の実現を目指し、実験と理論計算を含む探索的な研究開発を行う。本講座の学生は、つくば市に所在の国立研究開発法人 物質・材料研究機構にて研究を行う。 (金属、セラミックス、薄膜、欠陥、界面、発光、半導体特性、理論計算、電子顕微鏡)	<a href="https://www.nims.go.jp/">https://www.nims.go.jp/</a>
I-16 表面物質学 (准教授 中川 剛志)	(今回の二次募集における募集はありません)	
I-17 計算材料科学 (准教授 辻 雄太)	分子、固体、表面・界面の物性や反応性に関する理論的研究を行っている。特に、不均一触媒反応、分子エレクトロニクス、有機無機接合界面などの研究課題に力を入れて取り組んでいる。さらに最近では、情報科学・数理科学の知見や方法論も活用して研究を促進している。 (計算科学、理論化学、表面科学、情報科学)	<a href="https://sites.google.com/view/igses-tsuji/">https://sites.google.com/view/igses-tsuji/</a>
I-18 先端機能材料 (教授 藤野 茂)	(今回の二次募集における募集はありません)	

I-19 先進ナノマテリアル科学 (教授 吾郷 浩樹)	(今回の二次募集における募集はありません)	
I-20 KOINEプロジェクト部門 (教授 原田 裕一)	(修士の学生募集はありません)	
I-21 化学反応工学 (教授 林 潤一郎、 准教授 工藤 真二)	(今回の二次募集における募集はありません)	
I-22 ナノ材料・デバイス科学 (准教授 齊藤 光)	(今回の二次募集における募集はありません)	
I-23 ナノマテリアル国際ラボ (教授 柳田 剛、 教授 村山 光宏、 教授 Ho Johnny Chung Yin、 准教授 Yip Sen Po)	(今回の二次募集における募集はありません)	
I-24 量子化学 (教授 青木百合子)	(今回の二次募集における募集はありません)	
I-25 分子計測学 (教授 原田 明)	科学技術の発展や社会を豊かにするためには新しい分析手法の開発が必要不可欠である。我々はレーザー光やシンクロトン光を活用し、基礎科学的な分子計測法の開拓のみならず、それらを利用した極限分子計測・界面分子科学・環境化学・生体分子センシング分野への応用展開を行っている。 (分析化学, 物理化学, レーザー分光, シンクロトン分光)	<a href="https://www.mm.kyushu-u.ac.jp/lab_07/index.html">https://www.mm.kyushu-u.ac.jp/lab_07/index.html</a>
I-26 分子科学 (教授 古屋 謙治)	プラズマ中でのクーロン結晶/クーロン液体に関する物理を研究するとともに、材料科学への応用を目指している。具体的には、次の3つのテーマを中心に研究を進めている。(1) クーロン結晶/クーロン液体観測装置の改良と観測実験、(2) 分子動力学計算によるクーロン結晶/クーロン液体のシミュレーション、(3) クーロン結晶を利用した材料開発。 (クーロン結晶、コンプレックスプラズマ、分子動力学計算、強相関係、自己組織化)	<a href="https://mol.artsci.kyushu-u.ac.jp/">https://mol.artsci.kyushu-u.ac.jp/</a>
I-27 生体分子機能化学 (准教授 村田亜沙子)	生体高分子である核酸 (DNA・RNA)の構造や機能を制御できる低分子の探索・開発を目指している。核酸分子が関わる生命化学反応・疾患を標的とした創薬への展開を図る。分子生物学、生物有機化学、細胞生物学、進化分子工学の手法を用いて研究を行っている。 (ケミカルバイオロジー、RNA、DNA、低分子、生体内機能発現、創薬科学)	<a href="https://igses.kyushu-u.ac.jp/murata/">https://igses.kyushu-u.ac.jp/murata/</a>

I-28 分子・反応設計化学 (教授 友岡 克彦)	(今回の二次募集における募集はありません)	
I-29 生命有機化学 (教授 新藤 充、 准教授 狩野 有宏)	<p>【新藤グループ】新規反応剤を利用する合成反応の開発、生体作用有機分子や機能性有機分子の設計と合成、など有機合成化学を基盤に、特に生体の分子レベルでの制御を目指した研究を行う。                  (有機合成化学、生体作用分子、医薬農業)</p> <p>【狩野グループ】細胞のエネルギー代謝機構の研究とがん免疫制御因子の探索研究、およびこれらの知見に基づくがん生物学の解明と新たな治療法の開発研究を実施する。                  (がん細胞、免疫、代謝、ミトコンドリア、DDS)</p>	<p><a href="https://shindo-kano-lab.weebly.com/">https://shindo-kano-lab.weebly.com/</a></p> <p><a href="https://arihirokano.wordpress.com">https://arihirokano.wordpress.com</a></p>
I-30 機能有機化学 (教授 國信洋一郎、 准教授 森 俊文)	(今回の二次募集における募集はありません)	
I-31 材料電気化学 (教授 栄部比夏里、 准教授 アルブレヒト建)	有機合成を基盤とした新規半導体・エネルギー材料の開発と「電界」を触媒とする新規反応の開拓を行っている。また、電気自動車などに用いる低コスト低環境負荷の大型高エネルギー密度蓄電池実現に向けて、リチウムイオン電池や次世代電池系新規電池材料の研究を行っている。 (有機EL、電界触媒、多価イオン電池、単相全固体電池、コンバージョン反応)	<p>(栄部グループ)  <a href="https://www.cm.kyushu-u.ac.jp/dv07/index.html">https://www.cm.kyushu-u.ac.jp/dv07/index.html</a></p> <p>(アルブレヒトグループ)  <a href="https://www.alken-lab.com/">https://www.alken-lab.com/</a></p>
I-32 機能分子工学 (教授 菊池 裕嗣、 准教授 奥村 泰志)	(今回の二次募集における募集はありません)	
I-33 高分子材料物性学 (教授 横山 士吉 准教授 Lu Guowei)	(今回の二次募集における募集はありません)	
I-34 高分子化学 (准教授 Spring Andrew)	Well-controlled living polymerization mechanisms allow a fine tuning of bulk polymer properties to suit a range of high-tech engineering applications. Ring Opening Metathesis Polymerization (ROMP) is one of the most versatile and interesting of these techniques. The key requirement is that monomers must be cyclic alkenes which exhibit a large degree of ring strain. Typically, Grubbs catalysts are utilized to afford the narrow dispersity homopolymers, random copolymers, block copolymers and other more complex macromolecules. (Organic Synthesis, Purification and Characterization, Living Polymerizations and applications)	<p><a href="https://springmarkandrew28.wixsite.com/polymerchemistry">https://springmarkandrew28.wixsite.com/polymerchemistry</a></p>

I-35 素子材料科学 (教授 尹 聖昊、 准教授 宮脇 仁)	(今回の二次募集における募集はありません)	
I-36 機能有機材料化学 (准教授 藤田 克彦)	(今回の二次募集における募集はありません)	

## Ⅱ類に属する研究室・教員構成及び研究内容

半導体デバイスの設計製作や特性評価、システム開発に関する工学を駆使して、環境共生型の高性能デバイス開発の先端領域で活躍する研究者、高度専門技術者を育てます。また、プラズマや粒子線といった高密度エネルギー分野の理工学を学修することで、新エネルギー開発、宇宙利用、医工応用開発などの領域で活躍する研究者や高度専門技術者を育てます。

研究室（教育分野）名 （担当教員名）	研究内容	連絡先 研究室HP URL
II-1 電離反応工学 （准教授 山形 幸彦、 准教授 堤井 君元）	（今回の二次募集における募集はありません）	
II-2 光エレクトロニクス （教授 瀨本 貴一）	（今回の二次募集における募集はありません）	
II-3 電子物性デバイス工学 （教授 吉武 剛）	（今回の二次募集における募集はありません）	
II-4 非線形物性学 （准教授 坂口 英継、 准教授 森野 佳生）	（今回の二次募集における募集はありません）	
II-5 機能デバイス工学 （教授 王 冬、 准教授 山本 圭介）	薄膜の形成・加工・評価技術を用いて、IV族半導体の電子・光デバイスの研究開発を行っている。具体的には、1) Ge-CMOS技術の開発、2) Ge光デバイスの開発、3) GeトンネルFET、スピンMOSFETの開発、4) 3C-SiCデバイスの開発、5) Ge薄膜結晶の作製と評価、等に取り組んでいる。 <b>(Ge-CMOS、光デバイス、スピン、Ge-on-Insulator、3C-SiC)</b>	<a href="https://www.gic.kyushu-u.ac.jp/functionaldevices/">https://www.gic.kyushu-u.ac.jp/functionaldevices/</a>
II-6 電子システム工学 （教授 服部 励治）	（今回の二次募集における募集はありません）	
II-7 パワーデバイス工学 （教授 齋藤(羽田野)涉）	（今回の二次募集における募集はありません）	
II-8 電力変換システム工学 （教授 西澤 伸一）	（今回の二次募集における募集はありません）	
II-9 プラズマ応用理工学 （教授 林 信哉）	プラズマを用いた新しいバイオ・医療・農業応用技術を開発することを目的として、プラズマと生体との相互作用から医療用機器開発や植物成長促進技術まで、広範囲にわたるプラズマ科学の学理を追求し、柔軟な応用力を養うための教育と研究を行う。特に、プラズマによる免疫細胞の活性制御、植物の成長促進、加えてプラズマの宇宙利用の研究を行っている。 <b>(プラズマのバイオ・医療・農業応用、宇宙利用、プラズマによる環境保全、プラズマ科学)</b>	<a href="http://appl.aees.kyushu-u.ac.jp/">http://appl.aees.kyushu-u.ac.jp/</a>



II-10 先進宇宙ロケット工学 (教授 山本 直嗣 准教授 森田 太智)	手のひらサイズの小型人工衛星用ロケットから有人惑星間航行用の核融合ロケットエンジンまで様々な次世代宇宙推進に関する実験、計算機シミュレーション及びシステム設計に関する教育と研究を行う。 <b>(先進宇宙ロケット、プラズマ応用、プラズマ計測、実験室宇宙物理)</b>	<a href="http://art.aees.kyushu-u.ac.jp/index-j.html">http://art.aees.kyushu-u.ac.jp/index-j.html</a>
II-11 粒子線物理工学 (教授 渡辺 幸信)  (准教授 金 政浩)	(今回の二次募集における募集はありません)  (今回の二次募集における募集はありません)	
II-12 エネルギー化学工学 (准教授 片山 一成)	(今回の二次募集における募集はありません)	
II-13 量子ビーム理工学 (教授 榊 泰直)	(今回の二次募集における募集はありません)	
II-14 核融合プラズマ物性理工学 (教授 井戸 毅)	(今回の二次募集における募集はありません)	
II-15 核融合システム理工学 (教授 花田 和明)	電磁石を用いた大型プラズマ閉じこめ実験装置QUESTを用いた先進的計測・高周波によるプラズマ加熱・壁の能動的制御の実験を通じて、核融合炉に必要な技術の開発及びプラズマ物理の理解に関する教育と研究を行う。 <b>(プラズマ加熱実験・プラズマ壁相互作用実験・トカマクの定常運転)</b>	<a href="https://hanadalab.triam.kyushu-u.ac.jp/">https://hanadalab.triam.kyushu-u.ac.jp/</a>
II-16 先進プラズマ理工学 (教授 出射 浩、 准教授 池添 竜也)	(今回の二次募集における募集はありません)	
II-17 先進核融合情報制御理工学 (准教授 長谷川 真)	(今回の二次募集における募集はありません)	
II-18 プラズマ科学 (教授 田中 謙治)	(今回の二次募集における募集はありません)	
II-19 核融合プラズマ理工学 (教授 藤澤 彰英、 准教授 永島 芳彦)	プラズマ科学の基礎的研究から高温プラズマを生成する核融合基礎実験装置を用いた研究まで幅広い研究テーマに取り組む。主にプラズマ乱流、輸送現象、計測法開発、非線形データ解析など、極限プラズマに関する教育と研究を行う。 <b>(プラズマ乱流、輸送現象、計測法開発、非線形データ解析)</b>	<a href="https://www.riam.kyushu-u.ac.jp/fujisawalab/index.html">https://www.riam.kyushu-u.ac.jp/fujisawalab/index.html</a>
II-20 非平衡プラズマ工学 (准教授 MOON CHANHO)	(今回の二次募集における募集はありません)	

II-21 プラズマ非線形現象 理工学 (教授 山田 琢磨)	(今回の二次募集における募集はありません)	
II-22 シミュレーションプラズマ物理学 (教授 糟谷 直宏)	(今回の二次募集における募集はありません)	
II-23 理論プラズマ物理学 (准教授 小菅 佑輔)	(今回の二次募集における募集はありません)	
II-24 原子・分子・光科学 (教授 加藤 太治)	(今回の二次募集における募集はありません)	

## Ⅲ類に属する研究室・教員構成及び研究内容

Ⅲ類（環境システム科学）では、多様な専門分野の学生を受け入れ、サステナブルな社会システムと地球環境の構築・保全に関する教育研究を通して、総合的で広い視野をもち、次世代を担う創造的研究者、高度専門技術者の育成を目指します。

研究室（教育分野）名 （担当教員名）	研究内容	連絡先 研究室HP URL
III-1 エネルギー流体科学 （－）	（今回の二次募集における募集はありません）	
III-2 エネルギー熱物理学 （教授 渡邊 裕章）	（今回の二次募集における募集はありません）	
III-3 熱エネルギー変換システム学 （教授 宮崎 隆彦 准教授 Kyaw Thu）	地球温暖化を止めるには、化石燃料に頼る現在のエネルギーシステムを根本から見直す必要がある。本研究室は、あらゆるエネルギーの最終形態である「熱」に着目し、熱の有効活用によって地球環境問題の解決を目指す。特に、発電や高温の産業プロセス等で排出される排熱の利用をした新技術の開発に取り組んでいる。 （再生可能エネルギー熱利用、ヒートポンプ、吸着現象、熱力学サイクルシミュレーション）	<a href="https://tecs-lab.kyushu-u.ac.jp/">https://tecs-lab.kyushu-u.ac.jp/</a>
III-4 エネルギー移動現象学 （教授 池谷 直樹）	（今回の二次募集における募集はありません）	
III-5 熱機関工学 （准教授 田島 博士）	（今回の二次募集における募集はありません）	
III-6 都市環境科学 （教授 萩島 理）	人々が大半の時間を過ごす建物の室内環境は健康安全と快適性に大きな影響を及ぼす一方、健康快適な居住環境達成のため、建築関連部門は世界のエネルギー消費の約3割を占める事から、快適性を維持しつつ建築部門の省エネ・脱炭素化を進める事は世界的な課題である。一方、世界人口の約8割を占める開発途上地域では、インフラの未整備や低品質の住宅などにより、多くの人々が居住環境に起因する健康リスクに曝露されている。このような課題に対し、本研究室では地域の気候風土や経済・社会条件に即したサステナブルな居住環境を目指した研究に取り組んでいる。 （ZEH/ Zero Energy House、エネルギー需要データ分析、住環境と健康リスク、Sustainable Built Environment、フィールド調査）	<a href="https://igses.kyushu-u.ac.jp/hagishima/">https://igses.kyushu-u.ac.jp/hagishima/</a>
III-7 複雑系社会環境科学 （教授 谷本 潤）	（今回の二次募集における募集はありません）	
III-8 建築環境工学 （教授 伊藤 一秀）	（今回の二次募集における募集はありません）	

<p>III-9 環境エネルギーシステム学 (准教授 Hooman Farzaneh)</p>	<p>(今回の二次募集における募集はありません)</p>	
<p>III-10 生体エネルギー工学 (准教授 東藤 貢)</p>	<p>心筋細胞とポリマーを複合化したバイオアクチュエータの開発、骨再生用有機・無機複合系バイオマテリアルの開発、医療用CT画像を利用した骨折メカニズムの解明、ポリマーゲルを利用した柔軟性をもつ電池の開発等の研究を推進している。 (有機・無機バイオマテリアル、バイオメカニクス、組織工学、細胞工学、医用工学)</p>	<p><a href="https://www.riam.kyushu-u.ac.jp/be/">https://www.riam.kyushu-u.ac.jp/be/</a></p>
<p>III-11 海洋環境エネルギー工学 (教授 胡 長洪、 准教授 朱 洪忠)</p>	<p>本研究室は、海上風、潮汐、海流、波浪などの海洋再生可能エネルギーを利用する技術の開発、及びこれらの技術が海洋環境への影響評価に関する研究・教育を行っている。現在取り組んでいる研究テーマは、新型浮体構造物の開発、高効率潮流・海流発電技術、洋上空送電構想、次世代CFDシミュレーション手法の開発、などである。 (洋上風量発電、潮流発電、海洋工学、数値流体力学)</p>	<p><a href="https://sites.google.com/view/hu-lab/">https://sites.google.com/view/hu-lab/</a></p>
<p>III-12 風力エネルギー工学 (教授 吉田 茂雄)</p>	<p>(今回の二次募集における募集はありません)</p>	
<p>III-13 風工学 (准教授 内田 孝紀)</p>	<p>風工学分野では、人々の生活圏高度における局所的な風の流れ予想の高度化を目指す。特に、風力発電の需要拡大、台風、竜巻、火山ガス、山火事などの災害リスクの低減、空の革命の実現(無人/有人ドローンの高密度運用)を研究の柱とし、風洞実験(EFD)/数値計算(CFD)/野外観測によりアプローチしている。 (風力発電、災害リスク、ドローン、風洞実験(EFD)、数値計算(CFD))</p>	<p><a href="https://www.riam.kyushu-u.ac.jp/windeng/">https://www.riam.kyushu-u.ac.jp/windeng/</a></p>
<p>III-14 宇宙流体環境学 (教授 松清 修一)</p>	<p>最新の研究によると、宇宙空間は無衝突衝撃波、ジェット、乱流など、多くのダイナミックで興味深い現象で満ちあふれている。プラズマ物理の理論、計算機実験、衛星データの解析を通じて、宇宙という大きな視点から我々の環境を見つめている。また、共同利用施設を用いた天体衝撃波の大型レーザー実験にも取り組んでいる。 (宇宙地球環境、宇宙プラズマ、非線形波動、粒子(宇宙線)加速、実験室宇宙物理)</p>	<p><a href="https://www.esst.kyushu-u.ac.jp/~space/">https://www.esst.kyushu-u.ac.jp/~space/</a></p>
<p>III-15 環境流体システム学 (教授 杉原 裕司)</p>	<p>(今回の二次募集における募集はありません)</p>	

<p>III-16 水環境工学 (准教授 Eljamal Osama)</p>	<p>社会や生態系の基盤を維持するためには安全かつ持続的な水資源の確保が必要不可欠である。そのためには、水中の汚染物質の挙動を明らかにすることが重要である。本研究室では、汚染水からのエネルギーの生成や、汚染物質を除去するための新しい手法に関する原理や技術について研究している。 <b>(水処理に関するナノ技術、メタン生成、微生物燃料電池、反応性溶質輸送、地下水輸送モデル)</b></p>	<p><a href="https://www.esst.kyushu-u.ac.jp/~weel/">https://www.esst.kyushu-u.ac.jp/~weel/</a></p>
<p>III-17 大気物理 (教授 岡本 創、 准教授 山本 勝、 准教授 佐藤 可織)</p>	<p><b>(今回の二次募集における募集はありません)</b></p>	
<p>III-18 気候変動科学 (教授 竹村 俊彦、 准教授 江口 菜穂)</p>	<p>社会的に広く関心が持たれている代表的な環境問題である気候変動と大気汚染の両方に関わる研究を行っている。特に、大気中の主要物質である浮遊粒子状物質(エアロゾル)・微量気体・雲による気候変動について、数値モデルの開発・利用及び人工衛星データ解析により解明・評価を進めている。 <b>(エアロゾル、雲、微量気体、気候モデル、人工衛星データ解析)</b></p>	<p><a href="https://www.riam.kyushu-u.ac.jp/climate/">https://www.riam.kyushu-u.ac.jp/climate/</a></p>
<p>III-19 大気環境モデリング (教授 弓本 桂也)</p>	<p><b>(今回の二次募集における募集はありません)</b></p>	
<p>III-20 非線形力学 (-)</p>	<p><b>(今回の二次募集における募集はありません)</b></p>	
<p>III-21 海洋環境物理 (教授 時長 宏樹、 准教授 市川 香)</p>	<p><b>(今回の二次募集における募集はありません)</b></p>	
<p>III-22 海洋工学 (-)</p>	<p><b>(今回の二次募集における募集はありません)</b></p>	
<p>III-23 海洋循環力学 (准教授 千手 智晴、 准教授 遠藤 貴洋)</p>	<p><b>(今回の二次募集における募集はありません)</b></p>	
<p>III-24 海洋力学 (教授 磯辺 篤彦、 准教授 木田新一郎)</p>	<p>理論モデルや数値モデルを利用した海洋力学研究、ドローンなど新たなツールを導入した海洋観測、マイクロプラスチックなどの海洋プラスチック汚染、古潮汐や古海洋循環の理論的・数値的研究を行う。対象とする海域は沿岸海洋から外洋まで、時間規模は数時間から数万年までの諸現象を扱う。 <b>(海洋力学理論、数値モデリング、海洋観測、海洋プラスチック、古海洋学)</b></p>	<p><a href="https://mepl1.riam.kyushu-u.ac.jp">https://mepl1.riam.kyushu-u.ac.jp</a>  <a href="https://www.riam.kyushu-u.ac.jp/opg/">https://www.riam.kyushu-u.ac.jp/opg/</a></p>

III-25 海洋モデリング (教授 広瀬 直毅)	(今回の二次募集における募集はありません)	
------------------------------	-----------------------	--